

## 泥濃式推進工法用作泥材

# TG ムーバー $\alpha$

# TG ムーバーL

TG ムーバー $\alpha$ とTG ムーバーLを併用することで、あらゆる地層に対応できます。粘土やコロイド分と凝集を起しにくいため、塑性流動性を保持し、切羽の安定、良好な排泥が可能です。

### TG ムーバー $\alpha$ の特徴

- TG ムーバー $\alpha$ は、良質な粘土鉱物を主原料とし、水に溶解すると高い粘性を発現します。
- TG ムーバーLとの併用によりゲル粘性を高める事が可能となります。

### TG ムーバーLの特徴

- 増粘性・止水性を有するため、砂・砂礫地盤掘削において切羽の安定性を高めます。
- 液体品であるため即効性があり、作業効率が向上します。
- 泥膜形成性に優れているため逸泥を防ぐ効果があります。
- TG ムーバーLは、他の推進工法（泥水式・土圧式）においても使用可能な増粘材です。

### 配合手順

- ① 所定量の清水をミキサーに投入する。
- ② 目詰材（TGブロック）を使用の場合は、先に目詰材を投入し十分攪拌する。
- ③ ミキサーを回転させたままTG ムーバー $\alpha$ を少量ずつ投入し、分散・膨潤するまで継続して攪拌する。
- ④ TG ムーバーLを必要量投入し攪拌する。
- ⑤ 十分に混合攪拌した後、圧送を開始する。

\*作液する際に使用する水は清水（水道水など）をご使用ください。

### 性状・規格

製品	TG ムーバー $\alpha$	TG ムーバーL
外 観	淡黄色粉末	淡白色液体
比 重	2.5 ~ 2.7	1.05 ~ 1.15
荷 姿	20 kg 袋	18 kg 缶
主 成 分	ケイ酸塩鉱物	アクリル共重合体

泥濃式推進工法用配合表

配合 1

品名	単位	土質区分による配合 (m <sup>3</sup> あたり)						
		A	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2
TG $\mu$ - $\alpha$	kg	20	40	40	40	40	0	40
TG $\mu$ -L	kg	0.5	0.5	1.2	1.8	2.4	1.0	0.5
TG ブロック	kg	8	10	12	12	14	0	10
水	kg	985.2	975.8	973.5	973.0	970.8	999.1	975.8

\*TG ブロック ; 目詰材 (逸泥防止材)

配合 2

品名	単位	土質区分による配合 (m <sup>3</sup> あたり)						
		A	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2
TG $\mu$ - $\alpha$	kg	20	20	40	40	40	0	20
粉末粘土	kg	0	60	60	90	120	0	60
TG $\mu$ -L	kg	0.5	1.0	1.0	1.2	2.0	1.0	1.0
TG ブロック	kg	8	10	12	12	14	0	10
水	kg	982.0	960.0	950.6	938.9	925.0	999.1	960.0

土質区分	区分内容
A	普通土
B-1	砂礫土 (礫率 30%以下)
B-2	砂礫土 (礫率 30~40%未満)
B-3	砂礫土 (礫率 40~60%未満)
B-4	砂礫土 (礫率 60~80%未満)
C-1	硬質土 (N 値 > 10、 $qu < 5MN/m^2$ )
C-2	硬質土 ( $5MN/m^2 < qu < 200MN/m^2$ )

## テクニカ合同株式会社

(本社 西日本国際事業グループ) 〒658-0015  
 神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階  
 TEL078-436-0280 FAX078-451-0257  
 (東日本事業グループ) 〒170-0013  
 東京都豊島区東池袋3丁目9番10号 池袋FNビル1階  
 TEL03-6907-2566 FAX03-3985-8611  
 (神戸研究室) 〒652-0884  
 神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号  
 TEL・FAX078-671-1190  
 (大阪工場) 〒577-0067  
 大阪府東大阪市高井田西4丁目1番9号  
 TEL06-4309-7340 FAX06-4309-7341  
 URL : <https://www.technica-goudou.co.jp/>